

# 人財育成のために

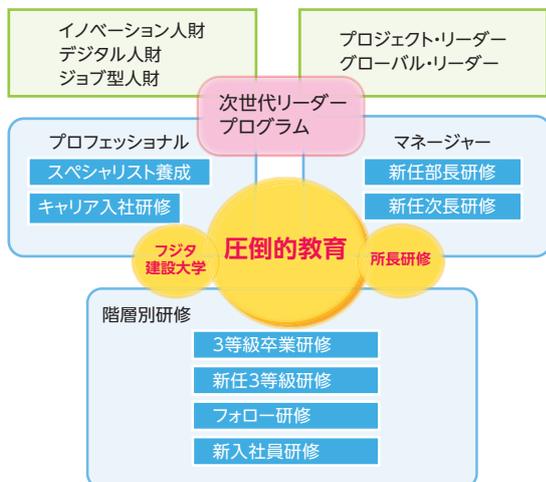
## フジタの考え方・体制

当社の人財育成に対する考え方は「フジタが求める人財像」に基づいており、これらを実現するための「人財育成体系」は「場を与えるOJT」をベースとしながら、OFF・JTで必要なビジネス能力の習得や専門技術力のさらなるレベルアップを図る研修を組み合わせ実施しています。OFF・JTの主な研修制度には、階層別研修や基礎技術と専門知識を大学のカリキュラムのように学ぶ「フジタ建設大学」に加え、技術の伝承を集中的に行うための「圧倒的教育」などがあり、多様な目的に応じた研修の機会を設けています。また、自律的キャリア形成に向け、計画的に複数のキャリア（職務・職場）を経験させると共に、「キャリア申告制度」を設け本人の将来目標を確認し、実現に向けたフォローを行なっています。

## 新たな人財開発・育成に向けて

現在のように変化が激しく、先行き不透明、不確実、複雑な時代においては、これを乗り越え、力強く未来を切り開く人財を育成することが急務となっています。このため、これまでの人財像を抜本的に見直すとともに、従来の研修における底上げ方式を前提とした画一的な教育システムを改善し、多様性を尊重した育成方式を採用するなど、人財マネジメントシステムの再構築に向け、人事/人財開発部門で検討を進めています。

### 新たな人財開発・イメージ



## 従業員の教育

### 圧倒的教育

当社では、従業員の実務能力アップと判断力強化を目的とした「圧倒的教育」を行なっています。2019年に技術センター内に設立した研修センターを拠点とし、5～7日間にわたって社内外の講師による講義などを通じて、職場に必要なスキルや判断力を養成しています。2020年度はすべてWEB形式で開催し、計90回、1,730名が参加しました。WEB開催により、時短勤務者や海外勤務者など、これまでの集合型研修では参加が困難であった従業員も研修を受講することが可能となりました。実施後のアンケートでは、自己の目指す将来像を考える機会となったという声のほか、利便性、時間・コストの節約、感染防止などの観点から多数の参加者からWEB研修の受講に前向きな回答が得られました。



より幅広い研修に対応するため技術センター敷地内に宿泊施設を建設しています (2022年3月竣工予定)

### グローバル人財の育成

現在、国際本部および海外の事業部に所属する人員は、現地で採用したナショナルスタッフを含め1,400名を超えています。各国のオフィスや作業所における健康・衛生管理の徹底、赴任者への語学力向上支援など、安心して海外赴任ができるよう国際教育を進めています。

### 現地化推進とナショナルスタッフ

海外の16の国と地域に拠点を持つ当社では、各地域の商習慣や文化などを尊重するとともに、技能向上、現地での雇用創出を目的として、事業運営の現地化を推進しています。2020年度は中国、韓国、メキシコから計6名のナショナルスタッフが、施工管理の技術を習得するために研修として日本国内の作業所に配属となりました。このような研修を通じて、ナショナルスタッフにも当社の日本国内従業員と同じ意識を持って働けるよう育成を行い、事業運営の現地化への取り組みを進めています。